



《就労準備支援》で ホップ! ステップ! ジャンプ!



くらしサポートセンター 守ロニユース



vol.25

2019年6月

発行：くらしサポート
センター守ロ
〒570-0083
守口市京阪本通2丁目5-5
守口市役所7階

刊代 無料
0800-200-8011
TEL：06-6998-4510
FAX：06-6998-4512

急がば回れ。

就労の前に力をためること

くらしサポートセンター守ロでは「直ぐに就労する自信がない」「長期的に未就労であったため仕事のイメージがつかない」「体力的に早急な就労開始が困難」といった方々に、就労の前段階の《就労準備支援》を実施しています。

就労準備支援のポイントはその人ができることから始めることです。できないことを始めても頓挫してしまい、自己肯定感の低下にも繋がるため焦りは禁物です。まずはできることから段階を踏んで次のステップへ。そうしていくことで、最終的には就労する力がたまり、就労開始に至ります。就労する・しないはやる気の有無の問題ではありません。具体的に行動を整えていく道筋を作ることで実現できるもので、それには第三者の力も必要です。

急がば回れ。堅実にゆっくり進むのが近道です。

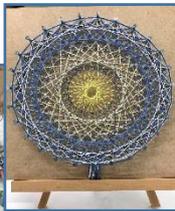


多種多様な就労準備 個性に合わせたメニュー

個性に合わせたメニュー

就労準備支援のもう一つのポイントは、相談者の趣味趣向に合わせた楽しいメニュー提供です。くらしサポートセンター守ロでは相談者の「やりたい」を大切にして、調理実習やウォーキング、クリエイティブ活動などを実施しています。やりたくない、やれないということは無理強いしません。

又、相談者の得意なことを活かすことも重要なと考えています。メニュー裏面は、相談者がイラスト作成が得意と聞いて就労準備の一環でお願いしました。マンガを作成したXさんも、一歩ずつ前進している所です。



糸掛け曼荼羅を作成

▼糸掛け曼荼羅を作成



備の一環でお願いしました。マンガを作成したXさんも、一歩ずつ前進している所です。



▲ウォーキングで体力づくり

家族会7月特別例会 当事者から 家族に伝えたいこと

7月14日の家族会特別例会では、ひきこもり支援アドバイザーの白石裕一さんをお招きします。白石さんは、登校拒否からひきこもり、精神疾患を抱えての10年を経て支援に繋がりが、ひきこもり支援アドバイザーとして活動されています。ご自身の体験にもついてお話いただけます。(詳細はチラシをご覧ください。)

まんぶく食堂1号店

～百円市～インララはしほ～

5月25日、ララはしほ商店街にて百円市のイベントに参加しました。百円市とは、商店街の商店さんが商品などを百円で売って、地域の方々に商店街を知ってもらおうイベントです。例年大賑わいで、当日もアーケードには人だかりができていました。

まんぶく食堂は一銭焼きを販売していたのですが、常連の子ども達が道行く人に「一銭焼きはいかがですかー!!」と大きな声で呼びかけてくれたおかげで大盛況でした。最後に、地域の方より「この百円市はお金使いすぎるから嫌やねん!!笑」というお褒めの言葉もいただきました。

また、百円市開催中に特設ステージでは「ゴスペルバンドの「やるきいず」によるアカペラが披露されました。しかも、よく見るとまんぶく食堂に来ている子ども達も参加していたのでびっくり。子ども達、歌が好きだから加入したそうです。地域で和気あいあいとできた良い一日でした。



▲百円市、大賑わい。



▲みんなが主役です

くらサポ・就労支援物語

本人作の漫画で語る プロジェクトX(?!)



自宅から市役所まで1km余りの距離を 自転車で15分(?!)の体力。。
幼少期からの運動嫌いで、もはや腕の上げ下げもままならない。。

そんなXさんの努力を紹介します。



Xさんとお会いして1か月、コミュニケーションはとれるし、考え方は柔軟だし、明るくて正直で、就労阻害要因は何かなあと思いつながりながら面談をすすめました。
そこで気づいたのが体力不足。週に1日、

2時間の就労が精いっぱいでは携帯電話代にもなりません。体力をつけたら職種も就労場所も、もっと自由に選べるようになることを提案すると、着々と実行！
週3日の来所は徒歩で、内職作業を背筋を

伸ばしている姿勢で、体力づくりに励むこと4か月。今や、もう1日就労日を増やすことが可能になってきました！
必要なもの欲しいものが手に入る生活にむけ、一緒に頑張っていけます！